



赤麻小だより



令和3年度 第7号

令和3年9月1日

【学校教育目標】 あかるい子 かしい子 たくまい子

発行：栃木市立赤麻小学校長 印部 稔

2学期が始まりました

長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。夏休み中も、保護者や地域の皆様が子どもたちの生活を見守ってくださったおかげで、大きな事故もなく、無事に2学期を迎えることができました。ありがとうございました。さて、8月中に新型コロナウイルスの感染拡大が広がり、栃木県には緊急事態宣言が出されています。これを受けて先日メールにてお知らせしたとおり、9月1日（水）から3日（金）の間は給食なしの午前中授業ということになりました。9月18日（土）に予定されていた運動会も11月に延期となりました。学校では、これまで以上に感染防止に努めていきたいと思えます。そのため保護者の皆様をお願いすることも多くなるかと思いますが、ご協力よろしくお願ひします。さて、2学期の始業式では感染防止の話に加え、子どもたちに次のようなことを話しました。（1学期の終業式に続き、2学期の始業式もリモートによる大型テレビの映像で行いました。）

夏休みが終わりました。去年に比べると42日間という長い夏休みでしたが、楽しい夏休みになったでしょうか？夏休み中、事故や事件に遭う人がなく、今日、元気な顔を見ることができて、とても嬉しく思っています。さて、今日から2学期が始まりますが、1学期の終業式に、話したことを覚えているでしょうか？1学期皆さんがとても頑張ってくれたこと、そして「なぜ？」を考えることができたかどうかや、「あかまっ子の合い言葉」が実行できたかどうか担任の先生と振り返ってほしいという話をしました。1学期の終業式の後、担任の先生を通して、皆さんの実行の様子を聞いてもらいました。その結果をお伝えします。

○なぜ（1）学習で

全体の74%、144人中105人ができていると答えてくれました。残念ながら、今回の振り返りでは一番低い結果でした。なぜ？と考えるのがなぜ大切なかは何度も話してきました。自分から勉強できるようになるための大切な一歩です。いつも「なぜそうなるのか」考える習慣を付けましょう。

○なぜ（2）学習以外で

全体の82%、144人中117人ができていると答えてくれました。自分から行動できるようになるための一番のポイントです。自然になぜ？を考えられるようになるとよいですね。

○あ 明るいあいさつ進んでしよう

全体の82%、144人中116人ができていると答えてくれました。あいさつのよさについても、これまで何度も話してきました。あいさつをして損をすることはありません。いいことがいっぱいありますので、もっとたくさんの人に挨拶して欲しいです。ぜひ、自分から、大きな声で元気に挨拶しましょう。

○か 考え合い 学び合おう

全体の85%、144人中120人ができていると答えてくれました。2学期は、一年間の中で最も長く、最も勉強に適した学期です。友達と考え合ったり、教え合ったりすることで、お互いが賢くなっていくのです。是非、友達と考え合い、教え合ってください。

○まっ まっすぐ目を見て、話を聞こう

全体の84%、144人中119人ができていると答えてくれました。話をしっかり聞くと言うことは、勉強ができるようになるための一番のポイントです。また、目を見て話を聞くと言うことはその人を大切にすることです。友達もできやすくなりますので、是非実行しましょう。

○こ 困難も不撓不屈で頑張ろう

全体の78%、144人中111人ができていると答えてくれましたが、がんばれる人がもっと増えて欲しいです。2学期には運動会や、持久走大会があります。練習が辛いこともあるでしょう。嫌だなと思うこともあるでしょう。そんな時でも、あきらめずに頑張ると、大きく成長できます。

長い2学期ですが、楽しい行事もいっぱいあります。あかまっこの合い言葉を考え、実行しながら、皆さんが成長してくれるのを楽しみにしています。先生方も頑張ります。ともに、頑張りますよ！！

2学期は心や体を成長させ、学力を伸ばすのにも最適な学期です。実のある充実した2学期になるよう、支援して参りますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

夏休み、先生たちは何を？

夏休み中、先生たちは何をしているのか疑問に思われている方もいらっしゃるかと思います。7月は保護者の方もご存じの通り、主に個人面談を行いました。8月（特に前半）は様々な研修や2学期の準備を行いました。今年度は前号でお知らせしたとおり、11月に研究発表がありますので、その準備が多くなりましたが、とちぎっ子学習状況調査結果の分析やQ-Uテスト結果の分析などをして、2学期以降の指導にどのように生かしていけばよいかを協議したりしました。その他、学習で使用する教材備品の点検をしたり、校外巡視をして、通学路の点検を行ったり、2学期の行事の準備をしたりしました。このように万全の準備をして始業式を迎えられるよう、頑張ってきました。



【教材備品点検】



【研究発表の準備】



【Q-Uテストの分析】



【とちぎっ子学習状況調査の分析】

小中一貫教育の推進

栃木市では「学校・家庭・地域が目指す子ども像を共有し、義務教育9年間の一貫性のある教育により、未来を担う子どもたちに生きる力を育む」ことをねらいとして、平成29年度より市内全校で小中一貫教育を行っています。本校も藤岡一中ブロックの3校（藤岡一中・藤岡小・三嶋小）とともに、下記の「藤岡一中ブロックの目指す子ども像」を実現するために小中一貫教育に取り組んでいます。

藤岡一中ブロック「めざす子ども像」
「夢をもち地域と共に未来を切りひらく児童・生徒」
(知) 自ら課題を見つけ、協働して学び合う子
(徳) 優しさや向上心を持ち、自他を尊重できる子
(体) 粘り強く、最後までやりぬく子

今年度の重点目標は、次の三点です。（昨年度の成果と課題を元に決定）

- ① 考え、思いを伝え合い、ともに学び合う児童・生徒を育てる。
- ② 自分のこととして考え、心を開き、本音で伝え合う道徳授業の充実を図る。
- ③ 系統的な指導法を工夫し、投力の向上を図る。

この重点目標の達成のために、推進委員会（年3回）と合同研修会（藤岡一中ブロックのほぼ全教員が参加）を行っています。合同研修会は昨年度は新型コロナウイルスのため行えませんでした。今年度は5月21日に1回目を行いました。重点目標の①については「学力向上部会」、②については「道徳教育推進部会」、③については「体力向上部会」に分かれて協議を行い、目標達成のために実践してきたこと、これから実践することを確認し合いました。夏休み中の8月5日（木）に2回目を行う計画でしたが、新型コロナウイルスの感染が猛威を振っているため、各校ごとの研修という形で行いました。それでも、藤岡地区の小中学校が同じ目標に向かって協働できるよう、今後も小中一貫教育を推進していきます。

投力向上を目指して運動委員会が「的当て大会」を実施

③の重点目標にあるように、藤岡地区の児童生徒の体力面での課題は「投力」です。もちろん、本校も例外ではありません。その課題克服のため、そして楽しく体力を付けてもらいたいと、運動委員会の企画で7月に「的当て大会」が開催されました。密を避けるため、13日は低学年、14日は中学年、16日は高学年対象と、3日に分けて昼休みに行いましたが、どの回も多くの児童が積極的に参加し、的当てを楽しみました。楽しみながら投力の育成につながる今回の企画はとてもよかったと思います。次の企画にも期待したいと思います。

